



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年4月4日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 和行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 阿久井 香織 (TEL) 03 (3518) 1900
 四半期報告書提出予定日 2024年4月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	5,936	△1.7	927	△16.4	930	△16.2	642	△15.0
2023年8月期第2四半期	6,041	△0.9	1,109	△17.7	1,109	△17.7	755	△16.7

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 642百万円(△15.0%) 2023年8月期第2四半期 755百万円(△16.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年8月期第2四半期	36	05	36	01
2023年8月期第2四半期	42	44	42	38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	24,807	22,785	91.8
2023年8月期	24,756	22,606	91.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 22,767百万円 2023年8月期 22,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年8月期	—	0.00	—	26.00	26.00	00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,600	1.5	1,910	△3.7	1,910	△5.2	1,318	△4.9	74	01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期2Q	17,816,932株	2023年8月期	17,809,632株
2024年8月期2Q	237株	2023年8月期	237株
2024年8月期2Q	17,813,646株	2023年8月期2Q	17,807,143株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れや物価上昇等が我が国の景気を下押しするリスクとなっており、引き続き金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化しております。なお、テレビメディア広告費は、1兆7,347億円(前年比96.3%)となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,252億円(前年比100.1%)となっております。(「2023年日本の広告費」(総電通調べ))

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value(バリュー)3」を掲げ、「コンテンツ価値の最大化」「投資最適化へ向けた意識改革」「放送周辺事業の強化と発展」をテーマに、様々な施策に取り組みました。

[レギュラー番組]

「京都」「居酒屋」をテーマに、『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』の京都編、『おやじ京都呑み』を大晦日に連続放送いたしました。なお、この時の『おやじ京都呑み』の放送では、レギュラー出演の角野卓造さん・近藤芳正さんに加え、ゲストに太田和彦さんを招き、番組の垣根を越えた編成といたしました。また、年末には『ディスカバリー傑作選』の人気コンテンツ『名車再生!』を「憧れのスーパーカースペシャル」として特別編成。年始には『八代亜紀 いい歌いい話』新春2時間スペシャルを放送し、その後、八代亜紀さんのご逝去を偲び、2月からは追悼番組の放送も実施いたしました。更に、(株)U-NEXTとの共同制作番組『ワールドスポーツCLIP! Supported by U-NEXT』では、ゴルフや総合格闘技の情報に加え、新たにスペインサッカーリーグの情報もお届けする等、様々なスポーツ情報を放送いたしました。

ドラマジャンルでは、テレビ初放送の中国時代劇『六扇門』や、大ヒット韓国ドラマ『天国の階段』、BS初放送のヨーロッパミステリー『刑事ダググリッシュ シーズン1』等の話題作を放送し、コンテンツの拡充に努めました。

[特別番組]

特別番組では、前回の放送でご好評をいただいた『御茶ノ水GUITAR SPIRITS!』の第2弾や、ライブイベントの様子を収録した『貴公子たちの音楽会 Vol. 3 @博物館明治村 特別編』を、お届けしました。このほか、黒澤明監督の映画『乱』や『天と地と』、山崎豊子原作・渡辺謙主演の映画『沈まぬ太陽』等の映画コンテンツや、(株)京都放送との共同制作番組『冬の京都2024～龍が棲まう千年の都～』、国内外で活躍する現代美術作家・ヤノベケンジさんが特別講師となって、次世代アーティストの発掘・育成ワークショップの様子を番組にした『京都発ARTのチカラ～未来のアーティストたちの真剣勝負～』、『第30回BFAアジア選手権 野球侍ジャパン 決勝 日本vsチャイニーズ・タイペイ』等、幅広いジャンルの特別番組を制作・放送いたしました。

【アニメ関連事業】

年末年始には、映画『プロメア』や、ファン待望の大人気シリーズの新作『転生したらスライムだった件 コリウスの夢』、6時間一挙独占放送を実施した『アニメロサマーライブ2023-AXEL- powered by Anison Days』等、多彩なラインナップでアニメファンのニーズに応えるコンテンツを放送いたしました。このほか、「ANIME+」枠では、製作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を毎クール約40タイトル放送しており、昨年10月にリニューアルしたエンターテインメント情報番組『アニゲー☆イレブン!』や、ももいろクローバーZをはじめ、DREAMS COME TRUEの中村正人さん等の豪華ゲストをお招きしたアニメソング番組『Anison Days』等も引き続き放送しております。

【配信コンテンツ】

㈱西日本新聞社が推進する「脳活新聞」プロジェクトを当社、㈱西日本新聞社及び㈱ADKマーケティング・ソリューションズの3社共同で動画コンテンツ化した『旅は脳活 ゆったり大人旅』や、㈱文化放送のインターネットラジオ「超! A&G+」とのコラボレーション企画『転スララジオ』クリスマス特番を、BS11公式YouTubeチャンネル及び当社の公式動画配信サイトBS11+（プラス）にて配信し、他社・他局との協業コンテンツの制作に注力いたしました。更に、TVerやU-NEXT、FOD、FANYチャンネル、ビデオマーケット等、外部プラットフォームでの配信を充実させ、より多くの方々にBS11のコンテンツを視聴していただけるよう、引き続き配信事業の拡大に努めてまいります。

【その他事業・マルチ展開施策等】

自社制作番組や配信オリジナルコンテンツの派生イベントの実施、関連グッズの通信販売等、様々な施策に取り組んでおります。報道番組『報道ライブ インサイドOUT』の派生コンテンツとして、視聴者参加型配信トークイベント「BS11 報道ライブ とことん聞きます! ○○に90分」シリーズをスタート。このほか、アニメ放送・ゲーム発売等で人気急上昇中のコンテンツ『ワールドダイスター』とのコラボレーション企画『ワールドダイスター RADIO☆わらじ』のトークイベントを㈱文化放送と実施いたしました。更に、当社の通販サイトBS11SHOPでは、『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』に出演中の太田和彦さん描き下ろしの「日本居酒屋遺産てぬぐい」の販売も開始し、商品のラインナップ強化に努めました。

今後も放送に加え、配信、その他事業等を通して幅広いニーズに応えることができるよう、努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 5,936,737千円（前年同期比 1.7%減少）となりました。営業利益は 927,628千円（前年同期比 16.4%減少）、経常利益は 930,471千円（前年同期比 16.2%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 642,155千円（前年同期比 15.0%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ50,703千円増加し、24,807,242千円（前連結会計年度末比0.2%増加）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が369,098千円、流動資産のその他に含めて表示している未収消費税が100,152千円とそれぞれ減少したことに加え、固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が266,429千円、無形固定資産が14,009千円減少したものの、現金及び預金が711,031千円、棚卸資産が100,924千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ128,415千円減少し、2,021,769千円（前連結会計年度末比6.0%減少）となりました。主な要因は、流動負債のその他に含めて表示している未払消費税が96,730千円増加したものの、流動負債のその他に含めて表示している未払金が227,375千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ179,118千円増加し、22,785,473千円（前連結会計年度末比0.8%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当463,044千円により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益642,155千円の計上に伴い179,111千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は14,310,948千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1,184,080千円（前年同期は691,806千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益930,471千円の計上及び法人税等の支払額234,124千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9,497千円（前年同期は799,388千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5,430千円、無形固定資産の取得による支出3,895千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、463,551千円（前年同期は326,674千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額462,763千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の連結業績予想につきましては、2023年10月5日付の「2023年8月期 決算短信」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,599,917	14,310,948
受取手形及び売掛金	2,325,022	1,955,924
棚卸資産	526,429	627,354
その他	218,399	83,128
流動資産合計	16,669,770	16,977,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,226,406	2,173,607
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	1,369,400	1,155,770
有形固定資産合計	7,630,563	7,364,134
無形固定資産	75,296	61,287
投資その他の資産	380,908	404,464
固定資産合計	8,086,769	7,829,885
資産合計	24,756,539	24,807,242
負債の部		
流動負債		
買掛金	696,741	719,070
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	268,817	348,919
その他	953,034	722,023
流動負債合計	2,018,593	1,890,013
固定負債		
退職給付に係る負債	108,789	109,749
その他	22,801	22,006
固定負債合計	131,590	131,755
負債合計	2,150,184	2,021,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,186,990	4,190,714
資本剰余金	3,520,780	3,524,504
利益剰余金	14,873,521	15,052,632
自己株式	△234	△234
株主資本合計	22,581,057	22,767,616
新株予約権	25,297	17,856
純資産合計	22,606,354	22,785,473
負債純資産合計	24,756,539	24,807,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年2月29日)
売上高	6,041,614	5,936,737
売上原価	3,098,825	3,168,355
売上総利益	2,942,789	2,768,381
販売費及び一般管理費	1,832,792	1,840,752
営業利益	1,109,996	927,628
営業外収益		
受取利息	71	67
その他	1,749	3,200
営業外収益合計	1,821	3,268
営業外費用		
支払利息	2,102	425
その他	19	—
営業外費用合計	2,121	425
経常利益	1,109,696	930,471
税金等調整前四半期純利益	1,109,696	930,471
法人税、住民税及び事業税	336,403	310,951
法人税等調整額	17,570	△22,635
法人税等合計	353,974	288,315
四半期純利益	755,722	642,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	755,722	642,155

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年2月29日)
四半期純利益	755,722	642,155
四半期包括利益	755,722	642,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	755,722	642,155
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,109,696	930,471
減価償却費	160,392	300,257
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	5,492
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,356	960
受取利息及び受取配当金	△71	△67
支払利息	2,102	425
売上債権の増減額(△は増加)	280,485	369,098
棚卸資産の増減額(△は増加)	△95,564	△100,924
仕入債務の増減額(△は減少)	50,791	22,328
未払金の増減額(△は減少)	△170,057	△237,983
未払費用の増減額(△は減少)	△154,528	△31,232
未払消費税等の増減額(△は減少)	△92,856	96,730
その他	△61,720	63,008
小計	1,032,024	1,418,563
利息及び配当金の受取額	71	67
利息の支払額	△2,102	△425
法人税等の支払額	△338,187	△234,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	691,806	1,184,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△791,566	△5,430
無形固定資産の取得による支出	△2,000	△3,895
保険積立金の解約による収入	984	2,211
その他	△6,806	△2,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799,388	△9,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△795	△795
配当金の支払額	△355,884	△462,763
その他	5	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△326,674	△463,551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△434,256	711,031
現金及び現金同等物の期首残高	14,456,611	13,599,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,022,355	14,310,948

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。